



第7号 (2014.11)

発行者：理工学部支援室

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/>

物理学系で教員と在学生との懇親会を行いました

物理学系では毎年定期的に教員と在学生との懇親会を実施しています。1～3年生は担任制を敷いており、教員と学生の相互理解を深めるための場として今年度は1年生（10月28日）、3年生（11月19日）を対象に2回行いました。この懇親会には教員が学生一人ひとりを知るだけでなく、学生に教員の研究分野をより深く知ってもらおうという目的もあります。



機械工学系でレスキューロボットの実演を行いました

10月4日（土）に多摩市立東落合小学校で行われた地区防災訓練の中で、機械工学系 山崎芳昭准教授と院生3名、学部生2名がレスキューロボットの実演・操作体験を実施しました。

当日は地域の方と小学生に向けてレスキューロボットの説明をし、小学生には実際に操作してもらいました。

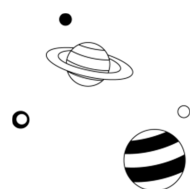


物理学系 客員教授 佐藤勝彦先生が2014年度文化功労者に選出されました

佐藤客員教授は「インフレーション理論」の提唱者であり、宇宙の起源について長年研究をされております。日本の文化の発展に寄与したとして今年度文化功労者として選ばれました。

佐藤勝彦客員教授 略歴

- 平成21年 本学客員教授就任（担当：宇宙論）
- 現在、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 機構長としても活躍されています



機械工学系の学生が「流れの夢コンテスト」に出場しました

10月25日（土）、日本機械学会 流体工学部門主催「第13回 流れの夢コンテスト」に機械工学系の緒方正幸准教授・熊谷一郎准教授と3年生4名が出場しました。流れの夢コンテストとは、流れに関する知恵を駆使してテーマを達成するアイデアと技術力を競うものです。

事前に課されたテーマは「流れのミュージアム」・・・明星大学チームは開催場所が富山県ということで、富山の名物「ホタルイカ」とホタルつながりで「ウミホタル」を題材に「流れがナイトミュージアム」というテーマを掲げ、疑似ホタルでウミホタルの生態を再現することにしました。

7月にはコンテストの準備のため、神奈川県三浦海岸へ出向きウミホタルを採集。ウミホタルは圧力や温度変化などの刺激により、体内の発光物質を放出する生き物です。採取したウミホタルの発光観察を行いながら生態を学び、疑似ホタルをゼラチンで作成することになりました。（ゼラチンの他にも、消臭ゲルやクッションシートなど試しましたが形が変わらずに保つことができるゼラチンが最も適していると判断しました）

流れの夢コンテスト当日は、ゼラチンへ赤色の色素（ローダミンB）を注入し作成した「疑似ホタル」にショック（減圧）を与え内部の色素をはき出す反応をさせ、ウミホタルの生態を再現しました。

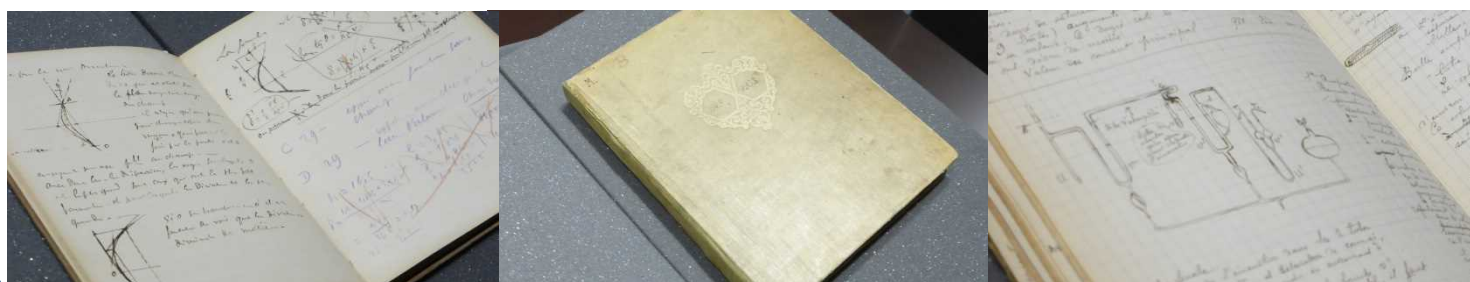


10/26 明星大学資料図書館リニューアル

創立50周年を迎えた明星大学は、記念事業の一環として約4,500点の貴重書を収める資料図書館(児玉記念図書館)をリニューアルオープンしました。

貴重書の中には放射能を発見したベクレルや放射能の名付け親マリー・キュリー（キュリー夫人）の実験室ノートがあります。

明星大学資料図書館は、月曜日から土曜日までの午前9時から夕方17時まで開館します。一般の方は、事前予約が必要です。（予約申込みは、本学ウェブサイトからお願いいたします）



マリー・キュリー実験室ノート（Paris,1919-1933） 明星大学資料図書館所蔵